

# 平成 29 年度 第 3 回 明石市財政健全化推進協議会

## 議事録

日時 平成 30 年 2 月 6 日（火） 14:00～14:20

場所 議会棟 2 階 第 2 委員会室

明石市

## 次 第

### 1 議事

市議会各会派からの提案に対する市の考え方について

### 2 その他

#### 【資料】

資料 1 財政健全化に向けた各会派からの提案 及び 市の考え方

---

出席者 委員 市議会側

尾倉座長、山崎議員、松井議員、遠藤議員、宮坂議員

委員 行政側

森本副市長、和田副市長、宮脇政策局長、岸本総務局長、中島総務部長、  
北條教育委員会事務局長（公家教育長代理）

委員以外の出席者

横田政策室長、島瀬総務管理室長、箕作財務室長、藤林財政健全化室長、  
松永財政健全化担当課長、林施設包括管理担当課長

傍聴者 一般 1名

## 1. 議事

市議会各会派からの提案に対する市の考え方について  
財政健全化担当課長より資料1について説明

座 長：何か意見や質問があればお願いしたい。

委員(議)：江井ヶ島の港湾部に少年自然の家と書かれた看板があるが何か関係があるのか。

委員(行)：少年自然の家では、漁協等と連携して海辺の体験事業を行っており、その関係の看板であると思われる。

委員(議)：高齢者ふれあいの里について、地元の魚住で廃止になるのかとよく聞かれる。資料1の1ページを見ると、そうではないということによいのか。

出席者(行)：資料にあるように、今後、利用者との意見交換を行ったうえで、どのような見直しを考えられるのか検討していきたい。施設配置適正化実行計画では、平成36年度までに転用等を行うという旨の記載になっているが、署名等、市民からのご意見をいただいているので、丁寧に進めていきたいと考えている。

委員(議)：資料1の2ページの受益者負担の適正化についてであるが、利用料を徴収すれば施設は存続するのか。市民にわかるような記載にしてはどうか。

出席者(行)：維持管理経費に対してどのくらいの割合の利用料を徴収するかによって、今後の施設に関する考え方も変わってくると思っている。高齢者ふれあいの里に関しては、年間約8,000万円の維持管理経費がかかっているなので、まずは状況を利用者や市民の皆さまにお伝えし、どのくらいの利用料であればご理解いただけるのか意見交換していきたいと考えている。

委員(議)：今までは、行政側からの提案や報告事案ばかりであったが、今回、市議会側から提案する機会をいただき、会派の中で、改めて市の財政健全化についての認識を高めることができた。それに対して市からも考え方を示していただき、一歩とまではいかななくても、半歩は前進したと思う。現在、国会でも議論されているが、財政健全化は永遠のテーマである。しっかりと会派に持ち帰り共有したい。今年度のやりとりは良かったと思っているので、また機会があればやっていただきたい。

委員(議)：資料1の5ページの大久保北部への企業誘致に関して、生活文化常任委員会の議会報告会で、エコウイングあかしの方が大久保北部の生態系保護の観点から

森林を残すべきではないかと言われていた。現状のまま放置するのもよくないが、環境の大切さもわかる。両方の意見がわかるので、そのような意見が出ていることを踏まえて検討していただきたい。

座 長：他に、意見や質問はないか。

【意見なし】

座 長：それでは、今年度、各会派から提案いただいた事項については、理事者側から説明を受けた考え方に沿い、また、ただいまの各委員からの意見も踏まえて、今後進めていくことを確認させていただく。

## 2. その他

座 長：何か意見があればお願いしたい。

【意見なし】

座 長：今回が今年度最終の財政健全化推進協議会となることと思う。今年度は各会派からの提案という新たな形で当協議会を運営してきたが、今回、一定のまとめをすることができた。委員の各会派の皆さまをはじめ、理事者の皆さまには会議の運営にご協力いただき、お礼を申し上げます。以上をもって、平成29年度第3回明石市財政健全化推進協議会を終了する。

閉 会